

ビラへの反響を特集しました。

となりの人のご意見は？

死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会（そばの会）
東京都荒川区南千住1-59-6-302

わたしたちが「死刑について考えてみませんか」というビラを毎月一度綾瀬駅前配りはじめたのは一九九七年の五月からです。こんなに休まず続けることになるとは思っていませんでしたが、毎回、裏面のアンケート用紙に意見を書いて送ってくれる人が何人もいて、それも励みになっています。

アンケートには死刑制度に賛成の人、反対の人、結論の出せない人、さまざまな声があります。寄せられた意見から、ごく一部ですが紹介させていただきます。

死刑はあったほうがよい！

死刑の執行はあなた方が主張するように、法務大臣や政治情勢によって左右されることがあるにしても、基本的には個々の事例を綿密に検討した審理の結果であり、裁判官以外誰も責任を負うべきものではない。反対する行動をとるなら、死刑判決が出ないように、個々の裁判の支援等の活動をすべきであり、拘置所の近くで行動するのは筋違いである。（綾瀬に住む善良な一市民）

廃止したほうがよい！

先日、急いでこのチラシを受け取り、電車にのってから見ました。実は私も同じ思いで拘置所の近くにいながら何も出来ない自分の無力さをずっと感じていました。犯罪のバックには社会の問題がある。数年前に突然執行された永山則夫さんの例はその典型です。ひとりの人間をそうした状況に追い込んだ社会、そしてその社会をつくっている私もひとりの加害者なのです。だから死刑には反対です。（60代・女性）

死刑はあったほうがよい！

私は死刑制度はあった方がいいと思います。他人を死に至らしめる犯罪がますます多様性を増し、犯罪者の年齢も低くなり、動機も曖昧になっている中、死刑をなくしたら歯止めがきかなくなるでしょう。自分の「死」というものを考えなければ「生」の感覚もたよりないものになり他人の生を簡単にあやめるようになると思います。（20代・女性）

廃止したほうがよい！

現在私たちは死刑の執行を見るのはもちろんのこと、執行の情報を手に入れることさえ日常のことではありません。これは良いことだと思います。なぜなら死刑執行を日常に意識するような環境の中では、逆に命の尊さを理解しない犯罪者を増やす恐れがあるのではないかと私は思うからです。そもそもどんな事情があるにしても、ある問題の解決方法として「殺人」が思い浮かぶのは良くない、それは犯罪者と同じ思考回路だと思う。（20代・男性）

条件が整えば廃止したほうがよい！

いただいたものを見る限り一般庶民は説得できないでしょう。「終身刑の実施」と「死刑廃止」は二本の柱としてセットにして訴えて行かないかぎり具体的な力として動き出すことはありえないだろうと思います。（30代・男性）

今回は紙面もないので、紹介だけにとどめ、わたしたちの意見を記すことは控えます。ただ、多くの方々が真剣に「死刑について考えて」くれていることを励みにわたしたち自身も考え続けていきたいと思えます。どうぞよろしく。